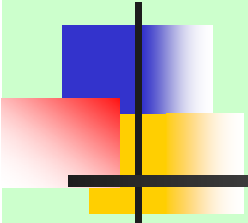
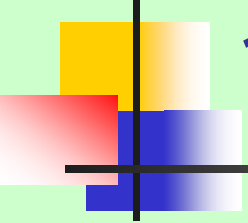


ASEAN人口センサス会議



独立行政法人 統計センター
金室 貴子

2006年9月21日



1. ASEAN人口センサス会議

(1) 日程

7月31日(月) ~ 8月2日(水)

カンボジア統計局, UNSD, UNFPA主催

(総務省統計局等が中心となって支援している
カンボジア政府統計能力向上計画の
第5回短期派遣の活動の一環として出席)



2. 会議の概要

(1) 出席者

- ・ASEAN各国(10カ国)の幹部, 国連統計部長, ASEAN統計部長, UNFPA, 総務省統計研修所等職員(JICA派遣)

(2) 主な内容

- ・人口センサスに関する国連勧告(Rev.2)案の説明
- ・ASEAN各国の人口センサスの準備又は実施状況の説明



3-1. シンガポールの主な内容

- (1) 2000年人口センサスの実施状況
 - ・初めてのレジスターによる人口センサスの実施
 - ・基本情報は世帯登録DB(全数)から取得, 詳細情報は20%抽出の標本調査による
 - ・3種類の調査方法
インターネット調査, 電話調査(CATI), 調査員調査



3-1. シンガポールの主な内容

(3) インターネットによる回答方法

- ・世帯へID及びパスワードを記載した通知を送付
- ・統計局のWebサイト上で回答を記入
- ・回答事項は暗号化して送受信



3-2. タイの主な内容

- (1) 2000年人口センサスの実施状況
 - ・OCR,ICR(Intelligence Character Recognition)を使用した集計を実施

- (2) 2010年人口センサスの検討事項
 - ・地方分査の実施を検討
 - ・調査員調査以外の調査方法を検討



3-2. タイの主な内容

(3) ICR利用の短所

- ・厳密に定義された同一規格の調査票が必要
- ・特定の筆記用具による記入が必要
- ・調査票の流通を慎重に行う必要あり



3-3. インドネシアの主な内容

- (1) 2000年人口センサスの実施状況
 - ・調査票のOCR入力を初めて実施
 - ・BPS (インドネシア中央統計庁) 直轄の各州事務所にもOCRを配置し、地方分査を実施
 - ・全調査項目の全数集計を初めて実施



3-4. フィリピンの主な内容

(1) 2000年人口センサスの実施状況

- ・ P U F (Public Use Files)という個別データを提供

(2) 2010年人口センサスの検討事項

- ・ 要計表作成に携帯電話のメール機能を使用することを検討



3-5. マレーシアの主な内容

(1) 2000年人口センサスの新調査項目

- ・携帯電話,パソコン,インターネット・アクセス,
電子レンジ

(2) 2010年人口センサスの検討事項

- ・公共料金の領収書を広告利用することを
検討
- ・インターネット調査の実施を検討



3-6. カンボジアの主な内容

(1) 2008年人口センサスの準備状況

- ・統計局等職員の指導のもと衛星写真を調査区設定の原図に利用
- ・集計システムにはCspro, VBを使用予定
- ・実査方法を参考にするため、経済センサスを実施中のインドネシアへ統計局職員を派遣

3-6. カンボジアの調査区地図

— ミュン境界
● ビレッジ



1:20,000

0 325 650 1,300 1,950 2,600 Meters